**関係各位　様**

**「プラテーロとわたし」企画書**

このたび、２０１２年９月２７日（木）・文京シビックホール(小ホール・収容人数３７０名)にて「プラテーロとわたし」の一人芝居を行うにあたり、貴社の関連記事への掲載をご検討頂きたく、ここに企画書を提出させていただきます。

この作品は朗読会をはじめ、クラシックの演奏会、フラメンコとギターの夕べ、そして世界的影絵作家の藤城清治さんの作品など、多くの方々に取り上げられてきました。しかし、ただ一つ「芝居」だけは誰にも手掛けられることはなく、翻訳家である伊藤百合子さんの意向により「一人芝居」に出来ないかというところから今回の企画になりました。

この作品は、ご存じの通り１３６編にもおよぶ散文詩で全編が成り立っており、実際これを芝居にするのは難しい作業になると思っています。

今回は、一つ一つの短編を通して、プラテーロとの想い出を語りながら詩人が旅をしてきた自らの思いを語る芝居を１時間１５分ほどの作品にする予定です。また、そんな作品の中にも多く登場している、ヒメネスがこよなく愛した詩人達の詩に曲を付け「歌」によって一人芝居を補い、そして詩人とロバの友情によって育まれた中で出会う多くの人達、それをマイムで表現するという方法をとりながらステージを展開してゆこうと考えております。

ヒメネスがこの作品を書き上げたのは１９１６年です。もう間もなく１００年の時を迎えようとしています。今回は、この作品を知っている方だけではなく、知らない方、読んだことのない多くの方々にも是非観ていただきたく思います。そのためにも、各メディアの演劇関係の紹介欄に掲載をご検討頂きたく、この企画書を提出させていただきます。

何卒、よろしくお願い申し上げます。

東京ロバ企画　　　ロバート山田

**公演詳細**

　　　　公演日時●2012年9月27日（木）　18:30開場／19:00開演

　　　　公演会場●文京シビックホール　小ホール（文京区春日1-16-21）

　　　　　　　　●東京メトロ丸ノ内線・南北線　後楽園駅直結

　　　　　　　　●都営地下鉄三田線・大江戸線　春日駅直結

　　　　　　　　●JR中央線・総武線　水道橋駅徒歩10分

　　　　　入場料●全席自由　前売、当日共3000円

チケット取り扱い●チケットぴあ　[Pコード：420-254]

　　　　　　　　●シビックチケット[シビックセンター2階窓口販売のみ]

　　　　　　　　●SEABOSE　TEL.03-3635-8686

　　　　　　　　●ゼニス TEL.03-5411-7747

　　　情報問合せ●K・企画　TEL.03-3419-6318

**キャスト**

一人芝居･････ロバート山田

歌と朗読･････花木さち子

マイム･･････くるくるシルク

　　　　　　立川真也

　　　　　　藤居克文

　　　　　　髙橋　徹

ギター･････並木健司

パーカッション･･･バロン中澤

**作品概要**

*これはたぶん、私の知る限りもっとも美しい書物です。*

*スペインの詩人ヒメネスが、およそ百年前に書いたこの本の中には、*

*この世の、ありとあらゆる”善いもの””美しいもの”が詰まっています。*

*〜江國香織〜*

**『プラテーロとわたし』について**

真っ青な空と真っ白な家が目にいたいほど明るい，太陽の町モゲール．首都マドリードで健康をそこなったヒメーネス（1881-1958）は，アンダルシア の故郷の田園生活の中で，読書と瞑想と詩作に没頭した．月のように銀色の，やわらかい毛並みの驢馬プラテーロに優しく語りかけながら過ごした日々 を，138編の散文詩に描き出している。

プラテーロは、小さくて、ふんわりとした綿毛のロバ。あんまりふんわりしているので、そのからだは、まるで綿ばかりでできていて、骨なんかないみたいだ。 けれど、その瞳のきらめきは、かたい黒水晶のカブト虫のよう。手網を放してやると、プラテーロは、草原にでかけ、バラ色やそら色の小さな花々に、そのはなづらをよせては、そっと愛撫する…。

世界中の人が愛するノーベル文学賞受賞作。

**出演者プロフィール**

**●ロバート山田**

シャンソン歌手、役者、ナレーター、司会者として都内ライブハウス、レストランでのディナーショーなどで活躍中。つかこうへい事務所退団後、ソロ活動を開始。

年１回の定期的なコンサートを、都内劇場にて公演（ライブハウス西荻窪・奇聞屋吉祥寺サムタイム）

☆初の1999年1月「コメディアンになりたかった男」は、日刊スポーツ演劇部門で特別賞受賞。

☆2005年12月、下北沢演劇祭参加作品「禅」は、演劇界のみならず、宗派を超えての仏教界や、ひろさちや氏、五木寛之氏などからも大絶賛。

☆2005年11月からスタートした、シャンソンライブ「言葉は静かに歌う」シリーズは、2009年3

月に6回目を数え、谷川俊太郎の詩にメロディーを乗せて芝居と融合させる独自の世界が注目を浴び、大好評。2011年12月には、千代田区内幸町ホールにて「アズナブールになりたかった男」上演。

その他、各イベント司会、ナレーター、ＭＣなどでも活躍。

シャンソン歌手の戸川昌子、上月美智子等のコンサート等の構成、演出。

タップダンサーとして、振り付けも手掛けるなど多彩な才能を発揮している。

**●花木さち子（歌手・女優）**

劇団「四季」入団。「エビータ」でデビュー。

1987年に退団後はミュージカルや舞台にあわせ歌手活動開始。清純と妖艶さを合わせ持った変幻自在の歌声で高い評価を受ける。

1989年「銀巴里」出演後、都内シャンソニエやライブハウス中心にシャンソンを歌い続ける。

現在ではコンサートを中心にミュージカル、ディナーショー、テレビ出演等活動は多岐に渡る。

**●くるくるシルク（アート サーカス パフォーマンス）**

2000年に東京の劇団、汎マイム工房の３名の男達で結成されたサーカスパフォーマンス集団です。くるくるシルクは、サーカスを表現として、パントマイムやダンスで鍛えた肉体と表現力で、舞台公演や大道芸を行なっています。サーカスに出てくるライオンや象は登場しませんが、ジャグリングの道具を身体に身に付け猛獣に扮して登場したりします。さらに集団で行うジャグリングなどサーカスではお馴染みの芸も登場します。実際のサーカスとはまた違い、パントマイムの表現により、観客がイメージを膨らませながら想像して観ることが出来るサーカスです。

**●バロン中澤（ボードビリアン）**

1978年生まれ。岐阜県飛騨高山出身。芸術と宴会を愛する家族に育てられる。小、中学生の頃は、両親の影響で様々な芸能、日本舞踊、民謡、和太鼓などに親しむ。

高校ではバンドに熱中。学生時代にオーストラリア・メルボルンで出会ったストリートミュージシャン、大道芸人、劇場のスタンダップコメディアンに魅せられ、芸人を志す。

現在は、うた、ウクレレ、タップダンス、コメディー、ジャグリング、湯たんぽ手作り楽器、何でも飛び出すおもちゃ箱のようなボードビルショーを展開中。音楽から生まれるコメディー、コメディーから生まれる音楽を作り続けている。

**●並木健司（ギターリスト／アレンジャー）**

東京生まれ　B型　乙女座

内外のアーティストのサポートやレコーディング、作曲、アレンジなどで活躍。

Duoアルバム「現音」発売中

「ソロギターベストヒット８０s」リットーミュージックより発売中。

「クラシックインジャズギター」「ジャズギタースタンダード」中央アートより、ロングセラー中。

ジャズ、ブルースからポップス、クラシックまで、 ジャンルにとらわれない音楽を追及している。

趣味は料理、ワインはカベルネソーヴィニヨン、シラーズが好き。

**作者 ●ファン・ラモン・ヒメネス**

詩人。1881年スペインアンダルシア・モゲールに生まれる。 17歳の時に初めて詩を発表する。 『プラテーロとわたし』は、1907年、26歳のときから書き始めら れ、5年後に完成して世に出されたが、その後もさらに書き加えられ、1916年に、今の完全な形として、再び出版された。同じく16年、タ ゴールの翻訳者でもあるセノビア・カンプルビと結婚。 スペイン内乱とともに、夫妻はプエルトリコ、キューバ、アメリカと各地 に移り住む。 1957年、ノーベル賞を授与される。 1958年死去。享年76歳。

**訳者 ●伊藤武好（いとう・たけよし）**

1945年東京外国語大学スペイン語科卒。 51年外務省人省、スペイン及びラテンアメリカ7力国の日本大使館に在 勤し89年退職。元ポリビア大使。 2002年死去、享年76歳。 共訳書に『プラテーロとわたし』『ヒメネス詩集』とホルヘ・イカサ『ワ シプンゴ』がある。

**共訳 ●伊藤百合子（いとう・ゆりこ）**

1943年日本女子大学現・社会福祉学科卒。 52年武好と結婚。 57年文雄をもうけるが、84年コロンビア・ハベリアナ大大学院留学中の27歳で客死。 大学では両親の寄付金を基に「フミオイ トウ財団」を設立、年間2名の奨学金給付と優良図書3冊の出版を20年 間継続し、現在も図書出版事業を継続中。 2003年より自宅を財団の日本支部とし、お話と音楽の集いを主宰。 夫との共訳書の他、『百年の孤独の国に眠るフミオヘ』『すぱらしき出会いの 50年（日本図書館協会選定図書）を出版。